

薬学

ふたば医療センター附属病院

平成31年度採用

職歴

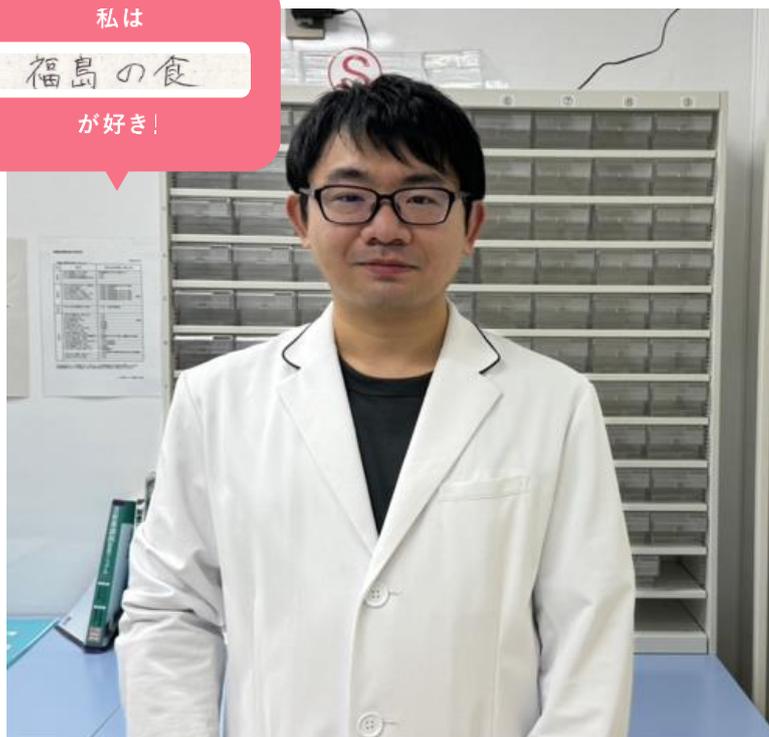
H31～ ふたば医療センター附属
ふたば復興診療所

R2～ ふたば医療センター附属病院
薬剤部

私は

福島の食

が好き!



わたしを表すKEYWORD

#電車通勤・自転車通勤

住居はいわき市、勤務地は富岡町ですが、自転車と電車で通勤しています。電車内での時間を自由に使えること、自転車に乗ることが適度な運動になること、利用者数が減っている県内の鉄道の利用者増に貢献することなどが理由です。

#ラーメン好き

福島には美味しいものが沢山ありますが、中でもラーメンは地域ごとに特色もあり、魅力的だと思います。休みの日や連休などに、旅行もかねて色々な場所のラーメンを食べに行っています。

#ガジェット好き

「薬」から支える 県民の健康で安全な暮らし

ふたば医療センター附属病院はふたば郡内唯一の救急病院として、双葉郡へ帰還している住民の方々や、復興を支えている方々が安心して生活・仕事ができる地域づくりを目指して、24時間365日、医療の提供を行っています。

小規模な病院であるため、薬剤師としての意見や考えを他職種から求められることも多く、日々学習しながら業務に向き合っています。



県職員を目指した理由

就職を考えている際、田舎の祖母に「近くで働いてくれると嬉しいな」と言われ、おばあちゃんっ子だった事もあり、その言葉がきっかけで福島に戻り就職することを決めました。

福島で就職するにあたり、多様な業務を経験できることを魅力を感じ、県職員を志望しました。

とある一日のスケジュール

- 9:00 夜間処方の確認
- 9:35 カルテチェック
- 10:00 全体カンファレンス
- 10:30 外来患者対応（随時）
病棟患者のラウンド
- 12:00 休憩
- 13:30 病棟カンファレンス
- 14:00 入院患者の点滴調剤
- 15:00 各種委員会参加
- 16:45 カルテチェック 処方確認
- 17:45 終業

今までの県職員の業務の中で、印象に残った経験



現在の職場に配属となる直前の2019年の年末から新型コロナウイルスの流行が始まり、双葉郡のコロナ治療の最前線として、治療方法が未確立で手探り状態だった頃から医薬品の入手やデータ収集などを通じて診療に携わり続けました。

医師を始めとした他医療職の方々と治療方針について議論・提案することもあり、自身で考え行動する経験を積み重ねることができました。

福島県職員として実現したいこと、目標としていること

福島県の薬学職は、病院だけではなく、各保健所や薬務課での薬事業務や、衛生研究所での分析業務など、多岐にわたる職場や業務を経験できることが魅力だと考えています。

今の職場は県立病院ですが、「その職場であるからこそ出来ること、必要とされていること」があると感じています。県民やその地域住民の皆様のニーズを見極め、それに寄り添えるような職員でありたいと思います。



東日本大震災から14年経過しましたが、これからも復興に向けてできること、やるべきことが多くあるように思います。そして、その先の課題でもある長期的な県民の健康を、「薬」を通じて一緒に支えていきたいと思います。

受験者への
メッセージ